

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果(八基小学校)

平均正答率

自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

	国語	算数・数学
八基小	下回った	下回った
埼玉県	68	62
全国	67.2	62.5

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	八基小	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	93.4	94.4	93.9
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	86.7	83.1	81.0
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	86.7	91.7	90.5
	新聞を読んでいる(週に1回程度以上)	13.3	12.4	12.6
学習習慣	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	80	73.4	70.7
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる	93.3	80.9	77.4
	昨年度までに受けた授業で、課題解決に向け、自分で考え、自分で取り組んでいた	93.4	83.0	78.8
	学校の授業時間以外に、平日、1日当たり1時間以上勉強をしている(学習塾等で勉強している時間も含む)	66.7	53.7	52.5
教科への関心	国語の勉強は好きだ	86.7	61.6	61.5
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	100	94.0	92.8
	算数の勉強は好きだ	66.6	61.2	61.4
	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	93.3	94.1	93.3
	英語の勉強は好きだ	80	69.6	69.3
	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う	40	54.1	52.5
主体的・対話的な学び	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	93.4	83.0	78.8
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	73.3	68.4	63.7
	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	80	79.5	74.4
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた	73.3	84.7	81.8
その他	自分には、よいところがあると思う	80	85.6	83.5
	将来の夢や目標をもっている	80	82.7	81.5
	人の役に立つ人間になりたいと思う	93.3	96.3	95.9
	今住んでいる地域の行事に参加している	73.4	56.8	57.8

八基小の「よくできていた問題○」と「課題のある問題●」とその理由

【国語】

○1-三(2)

出題の趣旨は、「送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる」であるが、宿題で繰り返し復習したり、定期的に小テストに取り組んだりしてきたので、よくできたと考えられる。

○2-一

出題の趣旨は、「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができるかどうかをみる」であるが、授業や宿題で、音読を習慣としているので、資料に何が書かれているのか、概ね読み取ることができたためと考えられる。

●1-二

出題の趣旨は、「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるような書き表し方を工夫することができるかどうかをみる」であるが、グラフの結果から考えを伝えるということに慣れていないためと考えられる。

●2-四

出題の趣旨は、「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる」であるが、慣れない文を読んで理解するまでに時間がかかることと、意見文を書くことが苦手であるためと考えられる。

●3-三

出題の趣旨は、「日常よく使われている敬語を理解しているかどうかをみる」であるが、正しい敬語を理解しておらず、日頃使えていないことが原因と考えられる。

【算数】

○1-(1)(2)

出題の趣旨は、「伴って変わる二つの数量関係を読み取ることができるかどうかをみる」とあるが、比例関係にある表の見方については、概ね理解し、よくできていた。

●2-(4)

出題の趣旨は、「高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に、面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる」とあるが、公式の意味理解が定着していないためと考えられる。

●3-(4)

出題の趣旨は、「2位数÷1位数の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることができるかどうかをみる」とあるが、わり算の筆算について、商は立てられてもその意味を根本的に理解できていないため、説明ができなかったと考えられる。

●1-(3)

出題の趣旨は、「伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる」とあるが、式や言葉を用いての記述方式が苦手であるためと考えられる。

【質問紙】

○「今住んでいる地域の行事に参加している」割合が高いのは、本校のふるさと教育の充実が図られているためと考えられる。

●「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた」割合が低いのは、自分の考えを発信することだけに満足して、友達の考えをしっかりと理解せず、相手の主訴を押し返して話し合い活動ができていないためと考えられる。

課題への取組・改善策

【国語】

- ・コバトン問題や過去の問題、ドリルパークに取り組むようにする。
- ・新聞ワークシート、視写、聴写、要約など、書く活動を工夫して取り入れるようにする。
- ・国語に限らず、社会や理科などの他教科でも、資料を見てわかったことを文章にまとめるなどの活動を意図的に取り入れる。
- ・文章の中で、大切なところにサイドラインを引き、要約するような練習を積み重ねていく。
- ・なぜそう考えたのか、理由まで伝える話し合い活動をする。
- ・深谷市全体で取り組んでいる学力向上プロジェクトに取り組み、正答率の低い問題について、解説等してから2回めを実施し、学習の成果を見届けるようにする。

【算数】

- ・コバトン問題や過去の問題、補充や定着には、ミライシードアプリに取り組むようにする。
- ・面積の問題に関しては、なぜそのような式になるのか、答えが合っても図を用いて説明するなど、改めて考えるようにする。
- ・深谷市全体で取り組んでいる学力向上プロジェクトに取り組み、正答率の低い問題について、解説等してから2回めを実施し、学習の成果を見届けるようにする。
- ・友達と協働する学習を多く取り入れ、多面的な見方や考え方を共有できるようにする。

【その他】

- ・様々な教科や活動の中で、自分の考えをまとめたり、発信したりする機会を設けるようにする。
- ・個人面談や懇談会等で、授業の様子や学力調査の分析結果を報告し、子供達の力が伸ばせるよう、学校と家庭で連携して取り組んでいくようにする。